

Edo Kiriko

# 江戸切子

Masaaki Yamada

## 山田 真照

山田硝子加工所 三代目

- 2006年 すみだマイスター認定
- 2007年 墨田区伝統工芸保存会入会
- 現在 墨田区伝統工芸保存会会員  
東京カットグラス工業協同組合青年部所属

### ◆受賞歴など

- 2011年 東京都チャレンジ大賞 優秀賞受賞
- 2012年 東京都チャレンジ大賞 共同部門奨励賞受賞
- 2013年 東京都チャレンジ大賞 一般審査賞受賞
- 2015年 経済産業省主催 The Wonder 500 入賞

## 江戸切子とは？

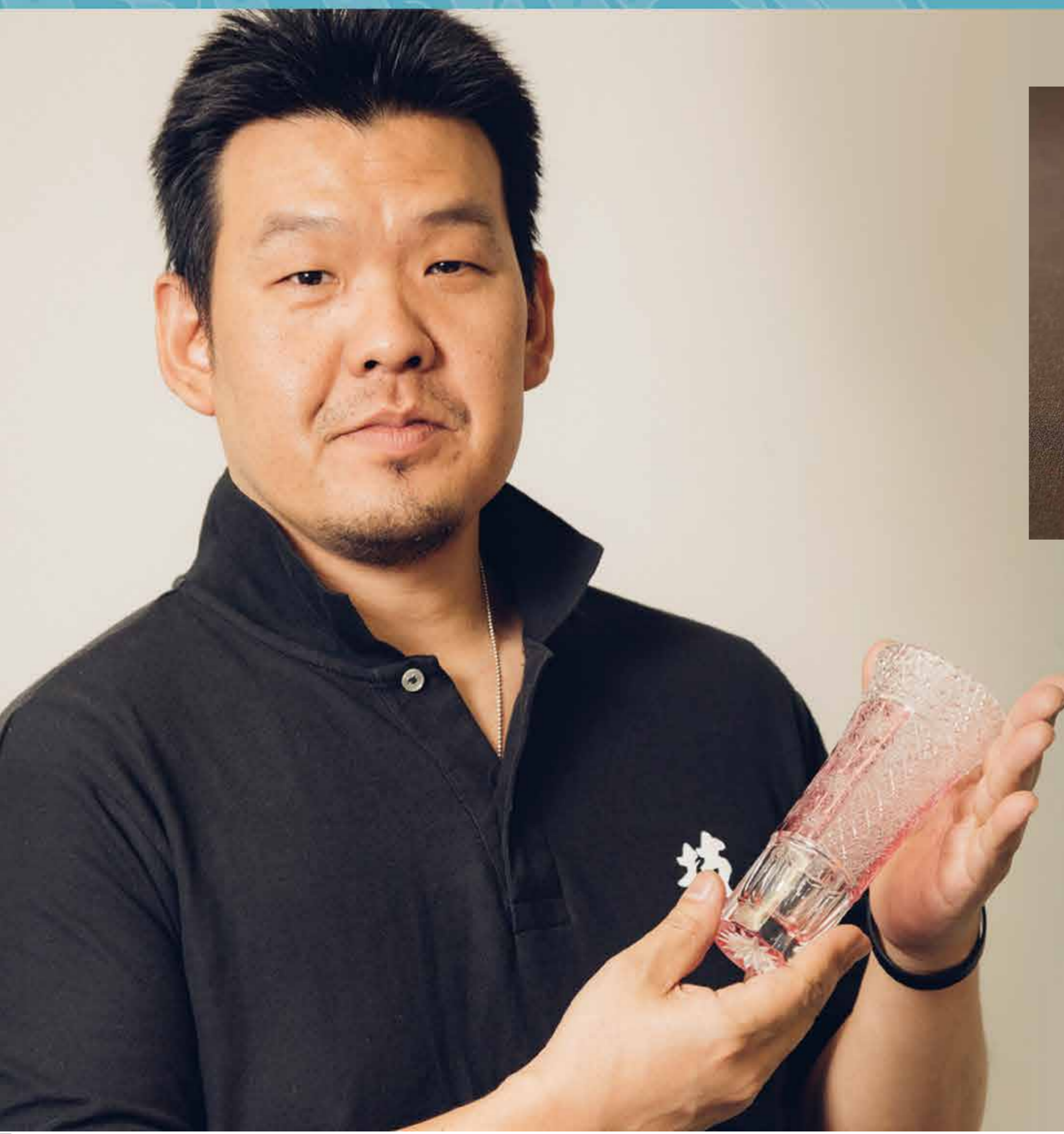
昭和 60 年に東京都の伝統工芸品産業に指定。

平成14年には伝統工芸品として国により指定され今に至る。その歴史は古く、天保5年（1834年）に、江戸大伝馬町のビードロ屋加賀屋久兵衛が金剛砂を用いてガラスの表面に彫刻したことがはじめとされています。切子は、ガラスの表面に、金属製の円盤や砥石などを使用し、さまざまな模様を切り出す技法の総称を意味します。菊や麻の葉などの植物や、箆目・格子など江戸の生活用具を図案化した模様が、伝統模様として受け継がれており、江戸切子はそれらを巧みに組み合わせで制作されています。

## 技へのこだわり

多くの人イメージする「江戸切子（直線的な線で削り出す表現技法）」に加え、「花切子（曲線などを用いて絵を描くように削り出す表現技法）」という2つの技法を用いて制作を行っている点は大きな特徴です。どちらか一方の技法に長けた職人は多く存在しますが、2つの技法を用いるのは非常に稀です。2つの技法を織り交ぜることで、制作における表現の幅を限りなく広げることが可能にしています。

ぜひ、その高い完成度と緊張感すら感じられる凛とした佇まいを、ご自身の目と感性でご鑑賞ください。



寿盃 松竹梅  
経済産業省主催  
・『The Wonder 500』  
選出作品

クリスタルオールド  
縁つなぎ紋

